

朝日大学は、国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人間的知性に富む人間の育成をめざします。



毎日編集
朝企画

<http://www.asahi-u.ac.jp/>

式典では、学部、大学院、留学生別科、歯科衛生士専門学校の入学生536名が、大友克之学長事務代理（副学長）並びに藤田厚専門学校長からの「入学許可」の宣言を受け、朝日大学での新たなキャンパスライフをスタートさせた。



堅い握手で新生活がスタート

大友学長事務代理は告辞で「本学の基本理念である建学の精神に立脚し、積極的に海外に発信できる能力を身につけると共に、これから的人生において、自身が社会にどのように参画していくべきかを考え、日々研鑽を積み、強い自信と誇りをもつてこの学び舎を旅立つていただきたい。入学生の皆さんこそが、朝日大学の未来であり、希

望、夢なのです。皆さんの夢の実現に向け、我々教職員と共に努力して参りましょう。」と挨拶があった。

続いて挨拶に立った宮田侑理事長からは、「これからはモデルチェンジを課し



体育会によるウエルカムパフォーマンス

続けてください。第三に、他流試合に通用する人材となってください。第四に、常に創意と工夫、誠実さをもって全てのことに対応してください。」と新入生たちへ激励の言葉（祝辞）が述べられた。

これに対し、入学生代表者は、それぞれ「建学の精神を遵守し、学業成就に向

キャンパス内の桜が開花し新年度を迎えた4月1日（火）、本学穂積キャンパス10周年記念館大ホールにおいて2008年度朝日大学入学式（春季）が青空のもと厳粛に挙行された。朝日大学と朝日大学歯科衛生士専門学校との合同挙行となった本年度入学式では、姉妹校である明海大学安井利一学長、メキシコ州立自治大学学長、ハノイ大学の関係者をはじめ多くの来賓が出席すると共に、厳粛な式典に歯科衛生士専門学校の入学生たちが華を添えていた。

続けてください。第三に、他流試合に通用する人材となってください。第四に、常に創意と工夫、誠実さをもって全てのことに対応してください。」と新入生たちへ激励の言葉（祝辞）が述べられた。

これに対し、入学生代表者は、それぞれ「建学の精神を遵守し、学業成就に向

け努力します。」と新たな気持ちを胸に力強い宣誓が行われ、大友学長事務代理との堅い握手が交わされた。海外からの来賓を迎える国際色豊かな式典では、本学吹奏楽部の国歌・学歌などの生演奏と管弦楽部の合唱が厳かな式典に彩りを添えていた。

また、式典終了後には、一転趣向をかえて本学体育会メンバーによる「ウエルカムパフォーマンス」が披露された。新入生たちの入学を盛大に祝うイベントに式場内は大いに盛り

け努力します。」と新たな気持ちを胸に力強い宣誓が行われ、大友学長事務代理との堅い握手が交わされた。海外からの来賓を迎える国際色豊かな式典では、本学吹奏楽部の国歌・学歌などの生演奏と管弦楽部の合唱が厳かな式典に彩りを

け努力します。」と新たな気持ちを胸に力強い宣誓が行われ、大友学長事務代理との堅い握手が交わされた。海外からの来賓を迎える国際色豊かな式典では、本学吹奏楽部の国歌・学歌などの生演奏と管弦楽部の合唱が厳かな式典に彩りを

け努力します。」と新たな気持ちを胸に力強い宣誓が行われ、大友学長事務代理との堅い握手が交わされた。海外からの来賓を迎える国際色豊かな式典では、本学吹奏楽部の国歌・学歌などの生演奏と管弦楽部の合唱が厳かな式典に彩りを

イタリア シエナ大学と交流協定締結



フェラーリ歯学部長（前列右から2人目）を囲んで

4月22日（火）、朝日大学東京事務所においてイタリアのシエナ大学との学術交流協定が締結された。シエナ大学からマルコ・フェラーリ歯学部長が、また本学からは宮田侑理事長、大友克之学長事務代理、田村康夫歯学部長が出席し、交流内容について確認後、協定書への署名を行った。

シエナ大学は1240年に創立された世界的にも歴史ある大学のひとつで、イタリア中部のトスカーナ州、人口約6万人の中規模都市シエナ市に立地する。

これまで本学歯学部では米国、中国、メキシコ、フィンランド計7大学への短期海外研修をサポートしてきたが、新たに8大学目が加わることになった。各国の教員や学生との交流を通じて国際的な視野を持つた歯科医師を育成するという大学の「夢」が込められている。

調印式では同時に、同大歯学部と本学との間で歯学部と本学との間で歯

2008年度朝日大学入学式を挙行

おもな内容

朝日大学入学式を挙行…1
総合グランド改修始まる…2
新入学外研修を実施…3
フェンシングAU杯開催…5
栄えある宮田賞を受賞…6

はなみずき

誰でもよかつた。JR岡山駅のホームで進入してくる列車に公務員の背中を突き飛ばし、死

育・学術上の功績が評価され、2008年4月1日付けで「朝日大学名誉教授」の称号が、本年3月定年退職の法学部西牧誠（行政法）、歯学部岩久文彦（口腔解剖学分野）、歯学部関根一郎（歯科保存学分野）の3氏に授与された。

このたび、教育・学術上の功績が評価され、2008年4月1日付けで「朝日大学名誉教授」の称号が、本年3月定年退職の法学部西牧誠（行政法）、歯学部岩久文彦（口腔解剖学分野）、歯学部関根一郎（歯科保存学分野）の3氏に授与された。



緊張した様子で「テーブルマナー」を学んだ（法学部）

4月のオリエンテーションの一環として実施され毎年恒例の行事となっている「新入生学外研修」が、法学部・経営学部は4月4日（金）、歯学部は4月10日（木）・11日（金）の日程で各学部ごとに実施された。法学部の学外研修は、岐阜市内の岐阜グランドホテルで実施され、三原憲二大志岐阜県弁護士会副会長からの「法学部新入生にむけて」と題した講演を聴講、その後、社会人としての心

一方、歯学部では、F1レースも開催される鈴鹿サーキット（三重県鈴鹿市）において1泊2日の宿泊研修を行った。新入生たちは歯科医師を目指す学生の心構えを研修すると共に、鈴鹿サーキットでの自由時間を過ごし、新しい友達、教員らと一緒に6年間のキャンパスライフのスタートをきった。

また、経営学部は、愛知県犬山市にある野外民族博物館リトルワールドへ大学

からバスで移動、指導教員らと共に園内を散策し新しい仲間をつくったり「異文化体験」を行い交流を深めていた。

一方、歯学部では、F1

4月のオリエンテーションの一環として実施され毎年恒例の行事となっている「新入生学外研修」が、法学部・経営学部は4月4日（金）、歯学部は4月10日（木）・11日（金）の日程で各学部ごとに実施された。

得である「テーブルマナー（洋食）」の講習を緊張した様子で受けた。食事がすすむと各テーブルでは話もはずみ笑顔もみられ指導教員と新入生とのうち解けた様子がうかがえた。

また、経営学部は、愛知県犬山市にある野外民族博物館リトルワールドへ大学

からバスで移動、指導教員らと共に園内を散策し新しい仲間をつくったり「異文化体験」を行い交流を深めていた。

一方、歯学部では、F1

新入生学外研修を実施

新しい仲間とともに

「名誉教授」称号授与

2008年4月1日付けで「朝日大学名誉教授」の称号が、本年3月定年退職の法学部西牧誠（行政法）、歯学部岩久文彦（口腔解剖学分野）、歯学部関根一郎（歯科保存学分野）の3氏に授与された。



西牧誠氏



岩久文彦氏



関根一郎氏

体験学習が実施される

朝日大学で大学生を体験

本学穗積キャンパスに岐阜県立山県高等学校の生徒が来学した。

今回の本学訪問の目的は、高等学校で行われている「体験学習」の授業の一環として「卒業後の進路選択」の参考となるよう大学、短大、専門学校等を訪問しているとのことであった。

本学6号館の模擬法廷では、宮坂栄麻里講師（法学

部）による「裁判員制度」のミニ講義を受講したり、大学で学ぶことの意義、大学生活の過ごし方などの説明を受けると共に、キャンパス見学を行った。

来学した山県高校の生徒たちは、ミニ講義では真剣に耳を傾け、学内見学での

充実した学生アメニティの数々に目を輝かせ、「一日大学生」を朝日大学で体験した。

委員会には岐阜アパレル産地を代表する（社）岐阜ファッショングラント連合会、岐阜メンズファッショングループ、岐阜婦人子供服（組合）、岐阜県既製服縫製（組合）の各代表者、岐阜県ぎふブランド振興課、岐阜市ファッショングラント連合会の担当者が出席し、昨年に実施した地元アパレル企業を対象とした「ヒアリング調査」の最終的とりまとめについて種々検討や情報交換が行われ、報告書「元気なアパレル企業の秘密」として公表されることとなった。今回同研究所が担当した「インタビュー調査結果

県中小企業団体中央会と連携 元気なアパレル企業を研究



委員会では活発な議論が展開された



高校生は模擬法廷でミニ講義を受講

第16回 日本歯科色彩学会総会・学術大会

特別講演

「高齢者と色彩」

名古屋市立大学大学院芸術工学研究科 原田昌幸 准教授

「色彩が与える心理・行動・生理的影響」

名古屋大学大学院環境学研究科 高橋晋也 准教授

学会講習会

「色の比較－測色と官能」

日本歯科色彩学会 片山直 常任理事

「歯と材料の色を管理する」

日本歯科色彩学会 細矢由美子 副会長

大 会 長：山本宏治（歯学部口腔機能修復学講座教授）

準備委員長：堀田正人（歯学部口腔機能修復学講座准教授）

大会事務局：歯学部口腔機能修復学講座歯冠修復学分野

今後も、本学産業情報研究所が地域社会・産業界への貢献をはたすと共に、同

研究所からの「情報発信」がなされることに期待が寄せられる。

本学の創立者である学校法人朝日大学の前理事長宮田慶三郎の素志により制定された「宮田賞」は、在学中の学業成績が特に優れた者や課外活動に貢献し本学の名譽を昂揚させた学生を対象に表彰するものであり、受賞者（8名）には「表彰状」と「銀杯」が大友克之から贈呈された。受賞者の今後の社会での活躍が大いに期待される。



「宮田賞」を授与される受賞者

また、「宮田賞」授与に先立ち行われた学位記授与式の学長告辞では、大友克之学長事務代理より卒業生たちへのはなむけの言葉として「建学の精神」が贈られた。式典終了時には参列全員が拍手で卒業生たちを見送り、厳肅であった式場内がたちまちに暖かい雰囲気に包まれた。

本学の創立者である学校法人朝日大学の前理事長宮田慶三郎の素志により制定された「宮田賞」は、在学中の学業成績が特に優れた者や課外活動に貢献し本学の名譽を昂揚させた学生を対象に表彰するものであり、受賞者（8名）には「表彰状」と「銀杯」が大友克之から贈呈された。受賞者の今後の社会での活躍が大いに期待される。

また、「宮田賞」授与に先立ち行われた学位記授与式の学長告辞では、大友克之学長事務代理より卒業生たちへのはなむけの言葉として「建学の精神」が贈られた。式典終了時には参列全員が拍手で卒業生たちを見送り、厳肅であった式場内がたちまちに暖かい雰囲気に包まれた。

本学の創立者である学校法人朝日大学の前理事長宮田慶三郎の素志により制定された「宮田賞」は、在学中の学業成績が特に優れた者や課外活動に貢献し本学の名譽を昂揚させた学生を対象に表彰するものであり、受賞者（8名）には「表彰状」と「銀杯」が大友克之から贈呈された。受賞者の今

2007年度朝日大学学位記授与式（横濱キャンパス10周年記念館大ホール・3月18日挙行）で、「宮田賞」の授与が行われた。

建学の精神を胸に羽ばたけ

（学長告辞の要旨）

宮田賞受賞者

法学部法学科	伊藤大介
経営学部経営学科	今田実穂、中島和夫、申珂
経営学部情報管理学科	渡邊有由美、伊藤祐樹
経営学部ビジネス企画学科	大杉尚美
歯学部歯学科	武田進平

いよいよ留学本番はれて別科課程を修了



今後の活躍をたたえあった修了パーティー

本学留学生別科修了生の21名は、2007年度学位記授与式（修了式）に出席しました。その後会場を移して行われた修了証書授与式では、吉田良生別科長から一人ひとりに修了証書が手渡されました。吉田別科長からは「朝日大学で学ばれたみなさんの今後の活躍を大いに期待しています。」との挨拶があり、修了証書を手にした修了生たちは、横濱キャンパス6号館学生ホールにおいて開催された法学部・経営学部と合同の卒業（修了）記念パーティーに出席した。パーティー会場では「朝日大学で楽しく勉強することができ、友人もたくさんできた。」「別科で学ん

本学留学生別科修了生の21名は、2007年度学位記授与式（修了式）に出席しました。その後会場を移して行われた修了証書授与式では、吉田良生別科長から一人ひとりに修了証書が手渡されました。吉田別科長からは「朝日大学で学ばれたみなさんの今後の活躍を大いに期待しています。」との挨拶があり、修了証書を手にした修了生たちは、横濱キャンパス6号館学生ホールにおいて開催された法学部・経営学部と合同の卒業（修了）記念パーティーに出席した。パーティー会場では「朝日大学で楽しく勉強することができ、友人もたくさんできた。」「別科で学ん